

11・3 筑後平野の 収穫祭！

癒しの森公園 荒木農園



「くるるん」のみなさんから メッセージをいただきました。

●空気の良い所で体を動かして、美味しくご飯を頂き、幸福な気分になりました。●自然豊富な農園。普段体験できない芋堀り。日々の疲れを一気に吹き飛ばしてくれました。●芋堀りなどの農業体験はなかなかないので親子とも良い経験になりました。●母である私も、畑や山に無縁に育ったので、親子共々良い経験になりました。何よりも虫が好きな長男にとって、こんなに多くの、様々な昆虫に出会って大興奮の連続でした。さつまいも堀りも本やTVで見るのとは違って、力のいる事を体で感じる事ができました。●とても気持ちのいい農園で、子供も楽しんでいました。料理もおいしかった。ぜひまた参加します。●手間をかけて育てて下さった野菜を頂きました。子どもたちには 来る機会があれば、準備や片付けのお手伝いも子供にもさせてあげたいと思います。●料理もおいしく楽しい時間を過ごすことができました。●子どもはイモほり名人になりたいといっています。元気が一番良いですよ。

収穫祭は盛会でした

参加者 75 名：①SNK メンバー②久留米大学関係者③くるるんの皆さん ④デイサービスなどの高齢者⑤知人友人
内容… サツマイモ・サトイモ料理を食べながらの交流会、子供たちを対象とした芋堀り体験 ⇒大賑わいでした。
報告 荒木農園収穫祭実行委員会 島井新一郎

陽射しはぐんぐん秋の日、パパやママの応援で子どもは芋堀り大会で頑張る、大きいぞと畑で汗をかく、元気だぞ



(あとがき)祭りのことを調べていると子ども時代へ還った。聞こえて来るのは祭り囃し、単調だが、心が浮き立つリズムを伴って祭りはやってきた。祭りの思い出がすっかり大きく膨らむと子供へ還るのだろうか、晴れやかな祭りの日へ。異郷で聞いた祭り囃しもある。その日の祭り囃しは何とも寂しくてやりきれなかった。祭りは故郷で聞き見るものだ。(式)

SNK

SENIOR NET KURUME

編集・発行
NPO シニアネット久留米
理事長 小島紀夫
久留米市荘島町 13-1
TEL 0942-46-2277

祭りの日

大善寺玉垂宮の楠の幹回りは、大人 5 人が手をつなぐほどの巨木であった。境内はいろいろの雑木広葉樹が枝を伸ばし、鎮守の森を形成していた。当時、子どもであった私たちはこの森に集まり、一日中、遊び呆けていた。

楽しみや娯楽の少ない昔、祭囃しが聞こえる日は朝から祭の楽しさに浸っていた。境内では、祭りに必要な小道具や衣裳が準備され、子どもたちは祭のはじまる時間を待ち遠しく待った。子どもも大人も、鎮守の森で繰り広げられる仰々しい神事と神秘的な時間を過ごしていたように思う。祭は毎年同じ筋書きをそのままに演出して、鬼と神とがその役どころを演じた。そして近隣から集まった人々は宗教的体験に酔った。子どもたちのお目当てはアセチレンガス灯の明かりで灯す屋台の出店、並ぶ品々、まがまがしくきらびやかに見えたおもちゃの類、怪しい手つきで作る水飴細工、カルメラなど。それも時代が少しだけ下がるとイカ焼きとなり金魚すくいが定番に加わり、仮面ライダーのマスクなどへと変わっていった。

社会は変化する。国際都市を目指す福岡市を通勤圏にもつ我が町久留米は、地域一番の商店街を閑古鳥が鳴く通りに変えた。中心街の再生計画が練られ、活性化を図る町興しのひとつとして「祭り」が見直された。「水の祭典」や季節の祭り「宝恵駕籠」etc で人を集め、六角堂を舞台に芸能の披露といった祭りである。やがて人を集める祭りは、「祭り」を行う者と見るもの、鑑賞する者へと役割分担を強いていく。今日、隆盛を誇る「ヨサコイ・ソーラン踊り」などがそれである。現代では祭祀と関係なく行われる賑やかなイベントを「祭り」と呼び娯楽性のみが強調されている。

博多ん町を今風人カタクシーが走る。街の活性化は草の根運動である、街は人を呼ぶ努力を惜しまない博多は商人の町、町は祭りを準備し完全燃焼する。



文化祭：サブタイトルは生涯学習フェスティバル 2012
「えーるピア久留米」館内は熱気むんむんの盛り上がり
平成の時代が育てた新しいまつりは人気を集めている



「高良山神幸祭」では神輿（神様の乗り物）が上宮と下宮を巡行した。古式に従ったその長い行列は、衣装きらびやかな時代祭である。南北朝時代を伺わせる装束、神輿や馬を連ねた行列は厳かに華やかに見えた。祭は筑後地方に残る一ノ宮の格式を改めて教えた。人々は郷土のお宮として「高良山玉垂宮」を誇らしく思った。

「神幸祭」から学んだことは多い。珍しいものを見た、面白かったと人それぞれだが、筑後地方に残る歴史を学んだ。人々は、神話ともつながるその古い歴史へ目を向けた。祭りに参加することで、日本神話の大昔に還り「自分探し」に似た感動を体験したと思われる。このように「祭り」は、人間関係が疎遠になった地域で暮らす人たちの心を一体化する作用がある。毎日の暮らし(ケ)の中に非日常の空間(ハレ)を演出するからである。祭の期間にだけ、伝統的に許される賑やかな場面を指して「お祭り騒ぎ」の言葉が今に残っている。

一般的な意味での「祭り」は、神社や寺院をその舞台として行われることが多い。いわゆる「五穀豊穰」「商売繁盛」「無病息災」「家内安全」「子孫繁栄」「天下泰平」etc、祭りを仕切る神社はたくさんの御利益を人々にもたらす。神社に御参りする習慣は日本人の心の中に生きていて、招福祈願、厄除祈念、またはそれらの成就に感謝して行われた。祭りは、節句などの年中行事が発展して、地域に住む人や共同体社会に「日本人の心のふるさと」とでも呼ぶ郷愁を育んでいる。
広報紙編集長 一ノ瀬尚文

特集 シニア世代は子どもたちを見守る・・・(3)

未来の大人たちへ 祭

大昔の人たちの生活を知ることとはとても大事なことだ。お宮と信仰の関係、共同体社会でみんなが仲良く暮らすとはどういうことか？筑後平野で生活した昔の人たちが教えてくれるものを、祭りや昔噺から学ぶ。人々と共に鬼がいて神々がいる世界、猿もイ/シシも河童も一緒に住み悩み考え、暮らす世界。なんだか昔の人たちと遊んでみたくなる。山や川、自然を利用した生活が見えてくると、高良山や筑後川をもっと大事にしなければと思う。川の氾濫に怯えた生活など、いくつも質問したくなる。祭りや噺から学ぶことは多い。



筑後国一ノ宮、高良大社の神幸祭

「高良記」によると、この神幸祭は称徳天皇 767 年に起源をもつ大祭で、江戸時代には 50 年に一度の大祭として、九州 4 大名が交代で祭祀を司ったものだそうです。一番新しい祭りは、平成 4 年の御神期 1600 年祭でありましたが、50 年に一度では人の一生の中で滅多に出会わない祭儀となり、スピード化した現代の感覚には馴染めないものがあります。

地域とのつながりを密にし、人々の暮らしの中にあるべき神社本来の姿から見ても、現代社会にフィットする神幸祭が必要という観点から、御神期 1600 年大祭 20 年目の今年、従来の大祭をコンパクト（一日）にまとめた御神幸祭が行われたものです。

まるで華やかな王朝絵巻を見るような神輿と装束、被り物、道具、持ち物のオンパレードに、馬が三頭登場する迫力ある祭りでした。うち一頭は白馬でしたが、その神々しさと気高さに、今でも冷めやらず、あの白馬に一度触れてみたいという思いが募ります。五百数十キロもある神輿を担ぐ自衛隊の方々や、交通警備にあたる警察官・高良山奉賛会の方々・学生パトロール隊など、祭りを盛り上げる若い力にも日本はまだまだ捨てたものではないなあと感無量の日でした。まちづくりの原点としてのこのようなお祭りが今後も続くことを願っています。

会員 保坂恵美子 (NP0 ゆにば市民ネットワーク代表)

写真説明: 時を超えて出現した古式豊かな衣装と持ち物、神輿も馬も輝いていた。
←朝妻味水御井神社へ向かう神輿、↑山川町王子宮（高良御子神社）御旅所祭
↓神輿は山川王子宮を出発、高良下宮社へ
→高良下宮社にて身支度を整え、朝妻味水御井神社へ（馬に乗る宮司）

華麗に時代祭



大祭の神輿（3 台ある神輿の内一台）の移動スケジュール

AM8:00 高良大社で発輿祭を終え、9:00 高良大社を下山 9:15 御井小学校、10:00 朝妻味水御井神社御旅所祭、11:00 高良下宮社着、高良御子神社御旅所祭、13:30 高良下宮社出発、14:30 八幡神社御旅所祭齋行、15:00 八幡神社を出発、16:15 高良大社到着、16:30 還幸祭齋行、の順

写真班からの報告

御神幸祭が 2012 年 10 月 14 日行われました。

「神幸祭(ジンコウサイ)」は、高良山玉垂宮から山麓にある朝妻の頓宮(味水御井神社)まで神輿が神幸する祭儀で通常は 50 年に 1 度行われるのですが、「御神期 1600 年大祭」から 20 年に当たる今年開催され御井町ほか三校区を、神輿が巡る御神期大祭となりました。非常に歴史のあるお祭りで、行列は 200 名以上が参加する賑々しいもので、装束・持ち物なども古式ゆかしく目を奪われるきらびやかなものでした。1600 年前の神々の昔を楽しみました。

御神幸祭の先頭車にウグイス嬢として SNK の岩坂浩子さん、次の車には保坂恵美子さんも同乗され嬉しそうに手を振って下さいました。神輿行列の移動に従い場所を変え観客に押される忙しい撮影でした。

写真班チーフ 会員 須賀由貴子



ギャラリー茶房
朝倉市杷木池田 228

全井手本屋

三階家
さん か い や

0120-063-650

月～土曜日：8:30～17:30 / 日曜他休日有

